

**2014/  
10月4日記録**

司会 稲住 会員

場所 弁天町オーケ200 生涯学習センター

## \* 事務局報告 \*

中北 会員

- ・H26年度年会費が未納の方はお支払いをお願いします。定例会または、振込みでお支払いください。
- ・元正会員郷戸敦子さんが通信会員として再入会されました。
- ・本日は、学習会の予定を変更しました。
- ・ふくてっく会報 87号発行に向けて、原稿等のご協力をお願いします。  
⇒原稿締め切り 11/8、池島まつりは 11/27。20周年については、各会員からひとことコメント募集します。

## \* 閲覧資料および書籍の紹介 \*

## A 催し・事業企画の案内

- A-1 大阪市立住まい情報センター：タイアップまつり「高齢期の住まいと暮らし」10/25・・・ふくてっく参加します  
A-2 災害フォーラム A-3 せんば鎮守の杜芸術祭

## B 他団体の機関紙等

- B-1 KSKP まねき猫通信 146 ふくふく福祉会 B-2 KSKP マツサク 133  
B-3 ぼんぼこ数真 30 ぼぼんがぼん および第 33 回つながりまつり (10/19)  
学習会「差別解消ガイドラインについて」(11/1)のお知らせ  
B-4 ゆめごよみ風だより No.66 ゆめ風基金 B-5 さつきつつじ会だより No.151 さつきつつじ会  
B-6 ちゅうぶ通信 B-7 さばね通信

## C 情報誌

- C-1 COMVO 10月号

## D その他

- D-1 建築物の改正省エネルギー基準講習会 D-2 なんばおにごっこ  
D-3 事務所移転のお知らせ NPO 中部障害者解放センター D-4 改正省エネ法に関する講習会 10/30

## \* 学習会 \*

13:40~15:20

(仮題) 船場地区の活性化と市民活動

谷口 康彦氏 元 UR サポート都市再生業務本部 都市再生企画部長

配布資料：船場ガイドブック 2013 (少し古い船場情報を掲載) 2014 (ここ 10 年のまちの移り変わりを掲載)

1972 年 UR に入社、阪神淡路大震災以降、大阪の都市再生にかかわり、船場地域も再開発を進め、退職後も船場にかかわっています。グランフロントや阿倍野ハルカスのような大規模な都市再生ではありません。2001 年バブル崩壊後の対策として緊急経済対策都市再生事業スタート、2004 年船場げんきの会発足、退職後の 2009 年「船場淡路まちラボ」主催しました。船場は、北は土佐堀川、南は長堀川、東は東横堀川、西は阪神高速までの地域で、北から北船場、中船場、南船場になります。ここに壁面線がそろった明治から今日までの様々な建築条件の建築物が残っています。人口推移をみると、府の人口は増え続けているが市の人口は昭和 15 年以降下がり続け、郊外化・都市空洞化が起こっていました。しかし、2000 年頃から都心に住む都心回帰現象が現れてきました。船場の特徴のひとつに、戦前の世帯数は店で働く従業員数も入っているのですが、8 人弱の人数でした。昨今は 1.4 人になっています。人口も減少傾向です。1995 年からの船場の動向はというと、バブル崩壊後、大阪の中でも船場にはたくさんの不良債権用地があり、都心居住型まちづくりがすすめられました。船場デジタルタウン構想を構築し、船場のライフスタイルの提案を行いました。都心のマンションは、普通、「食事をする+寝る」ですが、ここに「仕事」を組み込む提案で、SOHO (フリールーム) と玄関を 2ヶ所という間取りで、在宅支援賃貸住宅になります。建築当初の問題点は、賃貸部分の消費税をどうするか? ということで、国税庁とすったもんだしました。制約は、事業所としての登記が出来ないことです。今の船場には超高層建築物が数棟あり、ここ 10 年で 1 万人程人口が増えています。昼間人口も減少傾向とはいえ 20 万人程度です。そこで、市民活動の連携まちづくりをはじめました。2001 年に「船場げんき提案」を大募集し、優秀賞を積極的にまちづくりに活用しました。また、翌年には船場博を開催し、また「せんば GENKI まつり」を 2003 年から開催し、2005 年には「船場フォーラム」なども開催し今日に至っています。「船場げんきの会」が発足した頃は、全国的に市民まちづくり組織が動き始めていた頃で、全国各地の市や地域と交流しながら様々な活動をしています。「船場げんきの会」の特徴は、28 の活動グループからなる緩やかな連携で、ネットワーク、プロモーション、プロデュースを柱として活動しています。メンバーは、船場の住人、船場で働く人、学生等々、行政とのかかわりは少ないですね。まつりや催し物等は、やりたいと手を挙げたグループを中心に、プロジェクトごとに独立採算制で行っています。近代建築が多く残るここならではの動きとして、その建物にほれ込んだ人が直接オーナーにかけあい、飲食店等をしていることです。戦後建築物のリノベーションも活発です。近代建築オーナーサミット等も開催しています。ある調査では、ここ船場に 100 年以上続く企業が 400 社あるとか・・・また、事業所をサポートする業種も数多くあります。外国人観光客への対応も大切なことですが、まず、船場で働く人が週末も船場に來たくなるようなまちづくりをしていきたいと思っています。

<b>1. ふくてっくのつどい</b>		小川 会員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「池島ふれあいまつり」への参加に向けて、からくり工作試作を製作しました。(杉浦会員、荻田会員より報告) ⇒9/27 有馬工房にて作成。10/25 10セットのパーツづくりを行います。 10/30 池島実行委員会との打合せ</li> <li>・「池島ふれあいまつり」での「丸太切り(仮)」用に生駒いいもり里山へ材料調達にいきます。⇒生駒いいもり訪問日 10/13</li> <li>・11月に「つどい」の集会を開催予定ですが、日程は後日案内します。⇒例会前を予定しています。</li> <li>・ふくてっくでエプロンを揃えたいと思います。希望者のみ半額自己負担を考えています。⇒エプロンの色をどうするか? 木工教室その他イベントで使用。(サンプルあります)</li> <li>・10/11 パソコン教室開催します。⇒車や鉛筆立てなどの図面をつくろうと思います。</li> </ul>		
<b>2. 東大阪部会</b>		川北 会員
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 9月の東大阪における改造助成・介護住改の検証活動は5日間(9/4.11.18.24.25)延べ9名が活動しました。</li> <li>② 東大阪市改造助成事前相談会2回実施しました。</li> <li>③ 9月20日10:00~12:00 大阪市社会福祉センター「活動検討会」開催、参加者7名、検証事例等について。</li> <li>④ 10月18日の部会は「なんばおにごっこ」参加に変更。</li> <li>⑤ 東大阪あれこれ・・・当日をお楽しみに・・・大塚会員 ⇒東大阪の地名のいわれについて、例えば、昔桜のそのであったので花園となったとか、また、孔舎衛は「クサカ」と読みエミシ語では「船着き場」という意味だとか? 生駒の中腹で?</li> </ol>		
<b>3. こむねっと事業部会</b>		中北 会員
<p>9/20 こむねっと部会開催 参加6名 第三者評価その他について 奈良県手をつなぐ育成会の評価はまもなく大詰め</p> <p>10/15 評価機関連絡会</p> <p>M邸改修の取組 ⇒足踏み中……。10月中旬に図面をつくり、12月には着工予定。</p> <p>10/18 こむねっと部会は、なんばおにごっこに参加</p> <p>11/15 こむねっと部会は、障害者施設(2件)の見学会を予定 ⇒ 13:30~ また募集をかけます。</p>		
<b>* ひとことタイム * (会員による個人の情報発信コーナー)</b>		
<p>荻田氏: 無動力の歩行支援機「ACSIVE」紹介。名古屋大学と企業のコラボで開発。広くピーアールをお願いしたい。</p> <p>鎌田氏: 10/18 開催 「音登夢」コンサートのご紹介</p> <p>中北氏: 10/8・9.10 インテックス大阪で開催される催し物紹介</p> <p>坂田氏: 夏にご逝去されたお母様のこと</p>		
<b>* グループミーティング * (テーブル毎にフリートーク)</b>		
なし		
<b>* 初参加者の感想 * (初参加者には例会参加の動機、参加した感想など一言お話しいただきますのでご協力ください)</b>		
なし		
<b>* 次回例会の司会予定 *</b> 平成26年11月1日	司会: 上田会員	五十音順です。予定者の都合が悪い場合は、次の会員が担当となります。 予定: 大塚会員 大橋会員
<b>* 次回以降の予定 *</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月1日(土) 13:30~17:00 会場: 大阪市立社会福祉センター ■学習会 テーマ未定</li> <li>・12月6日(土) 13:30~17:00 会場: <u>弁天町ワーク200 生涯学習センター (旧弁天町市民学習センター)</u> ■学習会 テーマ未定</li> </ul>		